

第3章 環境基本計画の実施結果・評価

平成15年3月に策定された島田市環境基本計画は、平成24年度に10年間の計画期間を満了しました。ここでは、島田市環境基本計画に基づく10年間の取組の実施結果及び評価を、計画の「基本目標（望ましい環境像）」の区分にしたがって整理しています。

取組の実施結果及び評価は、「環境の目標」を見比べることにより行っています。なお、計画では個々の取組状況の指標として「取組の指標」を設けています。これについては巻末の資料編「環境基本計画の目標・指標一覧」に掲載しています。

また、平成24年度に実施した事業等（市民グループによるものを含む）の内容を、計画の「基本目標（望ましい環境像）」の区分にしたがって整理しています。

環境基本計画の体系



1 水とみどり

1-1 取組の実施結果及び評価

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
大井川の河状係数	712 (H10年度)	—	低下	—

※河状係数とは、最大流量を最小流量で割ったもの。数値が小さいほど平均的に流量が保たれていることになる。

【評価】

- ・流量が不安定のため、平成15年度以降は欠測となっており、実績値が算出されません。
- ・上流部にダムが多いこともあり、大井川の流量は季節によって変動が大きく、水量の減少により河川の自浄能力の低下と生態系への影響が懸念されます。
- ・今後も流域市町との広域的な連携を図り、大井川の流況改善を目指します。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
大井川の水質環境基準値（BOD）達成率	95.8%	100%	100%	達成

【評価】

- ・平成18年度以降、全測定地点（上流部・中流部・下流部）において環境基準を達成しています。
- ・国土交通省が実施した平成22年全国一級河川水質調査において、大井川は平均水質（BOD値）ランキングで、全国1位に選出されました。
- ・引き続き水質汚濁防止法に基づく規制・指導を行い、良好な水質環境を維持します。
- ・今後も定期的な水質調査を実施するとともに、環境保全協定により工場排水の相互監視を行います。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
市内中小河川の水質環境基準値（BOD）達成率	96.7%	92.9%	100%	未達成

【評価】

- ・平成24年度は、栃山川（七郎兵衛橋）、湯日川（道上橋）で環境基準値を超過しました。
- ・平成16年度～平成19年度、平成23年度は、全測定地点で環境基準値を達成しており、概ね良好な水質環境を維持しています。
- ・今後も公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置等により、中小河川の水質向上を目指します。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
緑地面積	57.3ha	75.5ha	72.5ha	達成

※基準値及び目標値が旧島田市分であるため、H24年度の実績は旧島田市分を計上した。

【評価】

- ・平成13年度以降増加傾向にあります。
- ・今後も土地利用対策事業等により緑地の整備を推進します。
- ・グリーンカーテンの設置は市街地の緑化を進めるとともに、地球温暖化防止にも有効な取組であることから、今後は家庭や事業所への普及を図ります。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
山林面積	15,534ha (H16年度)	15,127ha	6,077ha	—

※目標値は旧島田市分。H20年度から島田市全域の数値しかないため、比較のため基準値は旧島田市・旧金谷町・旧川根町のデータがあるH16年度とする。

【評価】

- ・平成20年度以降減少傾向にあります。
- ・近年では、従事者の高齢化や木材価格の低迷により、市域全体で管理の行き届かない森林や竹林が拡大しています。
- ・森林の多面的な機能を維持するため、今後は市・山林所有者・市民団体等が連携・協力し、間伐や下草刈り、竹林の伐採など、森林の適正管理を図ります。

1-2 事業等の内容

事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成24年度の 事業等実施数
1-1 身近で清流とみどりにふれあえる場の創出	1-1-1 身近で自然とふれあえる場の整備	4
	1-1-2 身近な清流の再生	6
	1-1-3 歴史的な水辺景観の再生	0
	1-1-4 大井川河川敷の利用	2
1-2 森林や里山の保全・復元	1-2-1 里山の保全	3
	1-2-2 森林の保全	4
1-3 自然とのふれあい体験の推進	1-3-1 自然とのふれあい体験を通じた関心の喚起	1
1-4 水資源の保全	1-4-1 水資源の適正利用	2
合 計		22

取組の基本的方向 1-1 身近で清流とみどりにふれあえる場の創出

取組 1-1-1 身近で自然とふれあえる場の整備

取組項目	事業等の内容	担当
既存公園の実態を踏まえた整備の検討	①ポケットパーク整備事業「ふれあいパーク事業」 目的：子どもや高齢者、障害者等の地域でのふれあい交流の場を整備する。 目標：先行取得公園用地の有効活用を図り、地域住民のふれあいの場を整備する。 実績：ポケットパーク伊太谷川沿岸公園（御飯屋町）の拡張にあたり、敷地造成のため、盛土を行った。	市街地整備課
	②市民参加型の公園づくり 目的：市街地の中の公園に豊かな樹林や水辺等、自然とふれあえる環境を整備し、市民と行政が協働で管理するしくみづくりを目指す。 目標：平成24年度末までに3箇所の公園について市民参加型の整備のあり方、計画、維持管理の提案を行う。 実績：①しろやまゆいの会がしろやま公園で七夕祭り、竹細工体験イベント、ふれあい祭りを開催した。芝生の防除・施肥・散水、花木の植樹・草刈りを行った。②水と里山を守る会が向谷水門横水神社下公園、金谷地区東町公園（SL公園）の整備進展状況・住民反応を調査した。	市民グループ
市民主体の自然と親しめる公園の整備・運営	③自然と親しめる空間の確保 目的：市民が常に自然と親しめる空間をつくる。 目標：市民主体による自然と親しめる空間の整備・運営を図る。 実績：しろやまゆいの会が湯日っ子の森の山桜・栗の木の保護を行った。また、コナラ（100本）の植樹を行った。	市民グループ
	④公園の管理事業 目的：地区住民の公園愛護精神を啓発し、社会奉仕活動の参加を促進する。 目標：公園愛護会会員による公園の清掃、除草、軽微な修理等の管理を自発的に行う。 実績：公園愛護会46団体に、52公園の清掃、除草等の作業を行った。	市街地整備課
多様な生物が生息できるビオトープの整備	⑤公共施設のビオトープの整備 目的：メダカやトンボ等の水辺の動植物を集め、自然とのふれあいができるビオトープを整備する。 目標：公共施設の整備等の機会を捉え、検討・整備する。 実績：検討の結果、適切な整備箇所がなかった。	市街地整備課

取組 1-1-2 身近な清流の再生

取組項目	事業等の内容	担当
自然に配慮した水辺づくり	①多自然型工法等による河川整備 目的：多自然型工法等を採用した治水対策などの調査・研究を行い、自然等に配慮した水辺づくりを進める。 目標：整備を行う河川で、多自然型工法が可能であり地域住民の理解により協働できる箇所については積極的に進めていく。 実績：東光寺谷川改修（宿島橋上流～菴江院橋下流間）延長300mの整備を県により実施した。また大井川水系下流ブロック河川整備計画の策定は次年度以降となった。	建設課
	②自然に配慮した水辺づくり 目的：市民の潤い空間の創出や多様な生物の生息空間の確保のため、自然に配慮した水辺づくりの推進を図る。 目標：平成24年度末までに市民参加の自然に配慮した水辺づくりの調査や学習会の企画運営を6回行い、市民参加の水辺づくりの提案を3箇所行う。さらに、行政と協働した水辺づくり事業を3箇所行う。 実績：①六合コミュニティ委員会が栃山川の両岸で除草・整枝等の作業を行った。②大津自治会が大津小学校と協力し、大津谷川で清掃・草刈りを行った。③水と里山を守る会が蛭川の実態調査と護岸工事、周囲の耕作放棄地の全体計画について農業委員と検討した。④湯日美里会が湯日川の浄化活動を実施した。	市民グループ

河川・水路の水量の確保	<p>③大井川の流量の増加を目指す</p> <p>目的：大井川流域市町と連携し、大井川の流量の増加を目指す調査・研究を行う。</p> <p>目標：農業用水を環境用水として年間を通じて利用できるよう、関係機関と話し合い、市内の中小河川・水路の水量確保を目指す。</p> <p>実績：大井川の清流を守る研究協議会が一般公募により、大井川の源流を学ぶ視察会、中流域を学ぶ視察会、大井川用水を学ぶ視察会を実施した。</p>	市民グループ
生活排水の適正処理の推進	<p>④公共下水道事業</p> <p>目的：人間の生活・生産活動に伴って生ずる汚水を処理し、都市の健全な発展及び公衆衛生の向上に資する。</p> <p>目標：事業認可区域210haの内、未整備区域26.5haの汚水管渠布設整備を行う。</p> <p>実績：5.15haの汚水管渠を布設した。</p>	下水道課
	<p>⑤合併処理浄化槽設置補助事業の推進</p> <p>目的：市内を流れる中小河川の水質が向上し、良好な生活環境が確保されるとともに、川の恵みを実感できるまちづくりの実現を図る。</p> <p>目標：建築基準法、建築基準法施行令及びし尿浄化槽の構造に関する告示により、平成12年12月1日以降は単独浄化槽の設置を禁止している。このため、単独浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えを一層推進する。（付け替えをする場合は、補助額を増額している。）</p> <p>実績：補助交付件数405基（うち単独処理浄化槽からの付け替え20基）を行った。</p>	下水道課
	<p>⑥市内水路の水質向上</p> <p>目的：生活排水の適正処理を進めることにより市内水路の水質の向上を図り、身近に清流を取り戻すことを目指す。</p> <p>目標：平成24年度末までに市民参加の自然に配慮した水辺づくりの調査や学習会の企画運営を6回行い、市民参加の水辺づくりの提案を3箇所行う。さらに、行政と協働した水辺づくり事業を3箇所行う。</p> <p>実績：①生活クラブ生協静岡志太支部が水を汚しにくい石鹸を供給し、利用を呼び掛けた。②環境市民くらぶが廃油石鹸を作り、利用を呼び掛けた。③やまゆりが環境にやさしい石鹸利用のパンフレットを掲示し、利用を呼び掛けた。④やまめ平が施設の食堂、外作業場、お客様手洗い場で環境にやさしい石鹸を使用し、利用を呼び掛けた。⑤Team Love H₂O&Forestが野守の池にEM活性液、EM泥団子を投入して水質浄化に努めた。⑥しまだ環境ひろばが国土交通省所管の「第9回身近な水環境の一斉調査」に参加し、市内7河川の水質調査を実施した。⑦水と里山を守る会が野守の池の再生について検討した。⑧初倉公民館・初倉児童センター共催事業の初倉の里楽校で、しろやまゆいの会の協力のもと炭焼き窯入れ・炭出し・谷川へ炭まき、さくら草植樹を行った。⑨大津自治会が大津谷川の8地点で水質調査を実施し、検査結果を住民に伝達した。</p>	市民グループ

取組 1-1-3 歴史的な水辺景観の再生

取組項目	事業等の内容	担当
残された歴史的な水辺景観の調査	<p>①残された歴史的な水辺景観の調査</p> <p>目的：市内に残された江戸時代の宿場町の風情や、木都としての歴史を彷彿とさせるような水辺の景観について、水路改修計画等の機会を捉え調査を行い、歴史的な水辺景観への関心を高める。</p> <p>目標：調査結果において、特に島田の歴史に深く関わる歴史的な水辺景観と判断されるものについて、保全または再生を水路改修に合わせ進める。</p> <p>実績：歴史的な水辺景観の対象となる工事箇所はなかった。</p>	市街地整備課

取組 1-1-4 大井川河川敷の利用

取組項目	事業等の内容	担当
大井川高水敷への水とみどりの取り込みの検討	<p>①川根町身成河川環境整備事業（県事業）</p> <p>目的：川根町身成地先大井川左岸約1.3km区間の環境整備を行う。</p> <p>目標：大井川左岸堤防及び堤外地の環境整備についてワークショップを開催し、整備イメージを検討する。</p> <p>実績：護岸及び環境整備の工事説明を推進委員等に行った。また、リバーフレンドシップ（施設の維持管理協定）の説明も行った。高水敷整備は570mを実施した。</p>	建設課

	<p>②大井川高水敷への水とみどりの取り組み 目的：大井川の自然を生かした河川敷の整備のあり方を市民参加により検討し、市民参加型の計画・維持管理を踏まえた整備の提案を行う。 目標：平成24年度末までに大井川高水敷への水とみどりの取り組みや向谷水神社一体の親水ゾーン化についての検討会を4回行い、市民参加型の計画・維持管理の提案を行う。 実績：①水と里山を守る会が大井川緑地（伊太地先）整備協議会における市の親水公園化に沿って、現地調査を実施した。②しまだ環境ひろばが市民環境塾「大井川用水をバスでたどってみよう」を実施し、大井川用水の視察や小水力発電候補地の探索を行った。</p>	市民グループ
--	---	--------

取組の基本的方向 1-2 森林や里山の保全・復元

取組 1-2-1 里山の保全

取組項目	事業等の内容	担当
里山の維持管理の推進	<p>①放置竹林対策 目的：近年、管理が行き届かない竹林が拡大して、急速に周辺の農地や森林等を侵食し、環境に様々な悪影響を与え始めているため、拡大防止対策を実施していく。 目標：市民と行政が一体となって、竹林拡大防止のための活動を継続する。 実績：市民貸出用の竹破砕機を活用し、竹林伐採が実施された。延べ16団体に75日間貸し出し、約0.45haの竹林が整備された。</p> <p>②住民・市民参加型の里山維持管理 目的：市民や市民グループが手軽に里山管理作業に参加できるように活動フィールドを整備する。 目標：平成24年度末までに竹林所有者を中心とした地元整備グループの結成を促進し、伐採の支援活動を7箇所で行う。また、耕作放棄地の再生支援を2箇所以上で行う。 実績：①里山仕事・しよんた塾が諏訪原城址（2回、0.5ha）・金谷石畳坂（1回）・塩ノ田（6回）で間伐・草刈り等、かたくりの里で桜の枝打ちを実施した。また、初倉中学校学校林（3回、0.4ha）で間伐、大代地区（0.93ha）で森の力再生事業により、竹林の皆伐を行った。②森づくりS川根が森林の作業路の整備・間伐を行った。（5.28ha）③しまだ環境ひろばが市内放置竹林2箇所です皆伐、間伐、若竹狩り、下草刈り、広葉樹や果樹等への樹種転換、管理道整備を実施した。（79回、140人、0.3ha）市民環境塾として、伊太地区の竹林2箇所です沢の清掃、植林、散策道・ハイキングコースの整備を行った。（2回、32人）第36回全国育樹祭（エコパ）に参加し、県知事褒章を受賞した。（1回、2名）県・志太榛原地区森づくり連絡会に出席し、情報・意見交換を行った。（2回、2人）④環境市民くらぶが元島田竹林整備を実施した。（20回、0.3ha）⑤里山どんぐりの会が森の力再生事業により、大草地区の未整備荒廃森林を整備した。（113回、459人、1.58ha）また、森づくりグループ活動支援事業により、阿知ヶ谷、東野田、大草、尾川の放置竹林・雑木林を整備した。（23回、100人、1.25ha）⑥水と里山を守る会が農水省奨励方式やクレーン車による荒廃竹林・森林整備を5箇所です実施した。（6回、12人、3ha）</p>	農政課 市民グループ
「島田の里山 30 選」の実施	<p>③「里山30選」の選定及び啓発活動 目的：市民参加型による維持管理活動により、多様な生物が生息する里山の創出・保全を目指す。 目標：平成24年度までに「里山30選」に拡大し、パンフレット3,000部を印刷して市民や小中学生等への啓発活動を5回以上行う。 実績：①水と里山を守る会が里山の保全を啓発する学習会にて、パンフレットを活用した。②しまだ環境ひろば市民環境塾「市民が選んだ里山30選をバスハイクしてみよう」にて、パンフレットを活用した。</p>	市民グループ

取組 1-2-2 森林の保全

取組項目	事業等の内容	担当
市民も参加した維持管理の推進	<p>①森林整備地域活動支援事業</p> <p>目的：森林の持つ多面的な機能の維持を目指し、山林所有者等が適正に森林を管理するために必要な「地域活動」を支援していく。</p> <p>目標：森林整備のため、施業団地を単位とした森林所有者等による森林の現況調査等の地域活動を支援し、計画的かつ一体的な森林整備を促進する。また、広く一般に森林整備の理解を深めてもらう。</p> <p>実績：国の補助制度により森林整備活動を支援し、適正な森林管理を進めることができた。</p>	農政課
大井川流域全体の交流のしくみづくり	<p>②大井川流域連携</p> <p>目的：大井川の健全な河川機能の維持を目的とした流域の市民活動の交流・連携のしくみづくりを推進する。</p> <p>目標：平成24年度末までに大井川流域の諸団体と大井川の健全な河川機能の維持を目的とした交流会を10回行い、提言を取りまとめる。</p> <p>実績：①大井川流域ネットワークが大井川「川まつり」に参加した。大井川の石を使った「きみのカンはすばらしい」や水に親しむ「水のふしぎ」ゲームを実施し、267人の親子が参加した。②水と里山を守る会が流域の諸団体（自治会・森林組合等）と交流した。</p>	市民グループ
竹・間伐材等利用の促進	<p>③間伐材を利用した製品開発</p> <p>目的：森林整備により発生した間伐材等を可能な限り再利用していく。</p> <p>目標：防護柵や治山谷止め工等に間伐材の有効利用を図る。</p> <p>実績：施業道福用線開設工事、林道鍋島犬間線舗装工事、相賀（菅沢）治山復旧工事において間伐材を利用した。また、間伐材搬出奨励補助金制度を整備し、間伐材の搬出促進に努めた。</p>	農政課
	<p>④間伐材等の利用促進</p> <p>目的：竹・間伐材等を利用した製品の開発を行う。</p> <p>目標：河川源流部の森林保全のために、竹・間伐材等を利用した製品の開発を通して、人・物・金の流れを作るしくみづくりを目指す。</p> <p>実績：①森づくりS川根が間伐材を利用した椅子を製作し、市へ寄付した。また、間伐材利用の木工機械を導入し、次年度以降の木工教室の開催を検討した。②大津自治会が大津財産区等と協力し、自治会主催のふれあい祭りにて、間伐材を利用した丸太切り大会を実施した。また、間伐材を利用して杭木を作り、林道等の保管理資材として活用した。③しまだ環境ひろばが市民環境塾「巣箱づくりを通じて野鳥の環境を見直そう」にて、巣箱の材料として間伐材を利用した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 1-3 自然とのふれあい体験の推進

取組 1-3-1 自然とのふれあい体験を通じた関心の喚起

取組項目	事業等の内容	担当
自然への関心の喚起	<p>①「島田自然マップ」づくり</p> <p>目的：地域の自然に関心を持ってもらうために市民・行政・教育関係者等との協働により自然マップ等を作成し、啓発に努める。</p> <p>目標：平成24年度までにマップ2,000部を印刷して、市民や小中学生への啓発に努める。</p> <p>実績：なし</p>	市民グループ

<p>自然とのふれあい体験の充実</p>	<p>②自然教室の開催 目的：身近な自然とのふれあい体験を通じて環境への関心を育む機会を増やす。 目標：平成24年度までに10回の自然教室の企画運営及び自然探検隊活動を行う。 実績：①六合コミュニティ委員会が東光寺谷川でホテルの鑑賞会を開催した。また、同時に東光寺本堂にて、住職によるホテルの講話会を実施した。 ②水と里山を守る会が2箇所ホテルの鑑賞会・親子勉強会を開催した。また、竹の間伐体験、古民家での自然教室を実施した。③しろやまゆいの会が七夕まつりで、竹細工体験イベントを実施した。④初倉公民館・初倉児童センター共催事業の初倉の里楽校で、ホテルの観察会を開催した。落合孟郎氏（静岡県ホテル連絡協議会会長）を講師に招き、くららにて講話、坂口親水公園付近でホテルの観察を行った。⑤交流センターささが「ほたるの里まつり」を開催した。期間中は案内所を設け、お茶のサービスや鑑賞場所の道案内を行った。また、ピザづくり、やまめのつかみ取り、ほう葉餅づくり、陶芸体験、林業体験、流しそうめん、ぼた餅づくり、木エクラフトを実施した。⑥森づくりS川根がホテルの鑑賞会を開催した。近年では自然発生の個体数が減少しているため、養殖について検討した。⑦大津自治会が大津小学校と協力し、大津谷川でやまめのつかみ取りを行った。また、大津地区のボランティア団体が企画した「ハイキング大津発見」に参加・協力した。⑧ぼうけんクラブがキャンプを行い、ボート下りで水とのふれあい活動を実施した。また、「夜間ハイク」「列車ハイク」を行い、自然とのふれあい活動を実施した。⑨しまだ環境ひろばが第五小学校のスクールサポーター（クラブ活動）を担当し、市民環境塾「巣箱づくりを通じて野鳥の環境を見直そう」及び「間伐材を使ってマイ箸を作ろう」を実施した。</p>	<p>市民グループ</p>
----------------------	--	---------------

取組の基本的方向 1-4 水資源の保全

取組 1-4-1 水資源の適正利用

取組項目	事業等の内容	担当
<p>秩序ある地下水の利用</p>	<p>①地下水状況の把握 目的：適正かつ合理的な水利用の推進を図り、地下水源の保全に努める。 目標：地下水位・塩水化の観測及び採取量報告書の提出により、地下水の適正利用を推進する。 実績：100者中99者（報告率99%）から年間採取量報告書の提出があり、正確な観測データを取得できた。</p>	<p>環境課</p>
<p>節水の推進</p>	<p>②漏水調査の実施及び節水の啓発 目的：有収率の上昇を図り配水量を抑制する。水道使用量の節水を図る。 目標：有収率82.5%、1人当たり水道使用量を0.28m³/日以下とする。 実績：島田市内（旧市街東部、岡田・阪本地区）の漏水調査を行った。市関係機関と市内小学校にポスターを配布し、市内小学校の蛇口の点検及びパッキンの交換を実施した。リークゾーン調査（漏水音圧測定）を217件、漏水発見調査を105箇所（推定漏水量24.84m³/h）で実施した。有収率82.1%、一人当たりの水道使用量は0.26m³/日であり、目標を達成した。</p>	<p>水道課</p>

2 ごみ

2-1 取組の実施結果及び評価

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
1人あたりごみ排出量	735g/人・日	840g/人・日	603g/人・日	未達成

※事業系のごみは含まないものとする。

【評価】

- ・基準値より増加していますが、平成20年度以降は概ね減少傾向にあります。
- ・マイグズ運動（マイバッグ、マイ箸、マイボトル）が浸透しており、ごみを出さない工夫がなされています。平成23年度に実施した「環境に関する市民アンケート調査」の集計結果によると、約9割の市民が買い物時はマイバッグを持参しています。
- ・ごみは日常生活や事業活動に密着した課題であるため、今後も市・市民・事業者が一体となって、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取組を推進します。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
リサイクル率	20.7%	22.8%	30%	未達成

【評価】

- ・基準値より増加しているものの、平成20年度以降は減少傾向にあります。
- ・近年では、資源ごみの回収量が減少していますが、これは3Rの推進により、ごみ自体が減少したものであり、リサイクル意識の低下によるものとはいえません。
- ・本市では、行政回収及び集団回収により古紙を回収していますが、デジタル化による紙媒体の利用減退により、回収量が年々減少しています。
- ・ごみの組成調査の結果によると、古紙・ペットボトル等の燃えるごみへの混入が見られるため、今後も資源ごみの分別を徹底し、リサイクルの意識啓発を図ります。
- ・平成18年度に稼働開始した田代環境プラザでは、ごみを高温熔融処理し、スラグ・メタルとして再資源化しています。また、排熱を利用してごみ発電を行い、施設内の使用電力を賅っています。

2-2 事業等の内容

事業等の実施数

取組の基本的方向	取 組	平成24年度の事業等実施数
2-1 ごみの発生抑制 Refuse & Reduce !	2-1-1 環境にやさしい製品の普及	2
	2-1-2 ごみをつくらない・売らない・買わないしくみの構築	2
2-2 再利用の促進 Reuse !	2-2-1 不用品の再利用の促進	3
2-3 再資源化の促進 Recycle !	2-3-1 資源分別の徹底	3
	2-3-2 生ごみ資源化の推進	5
	2-3-3 剪定枝・落ち葉の堆肥化の推進	1
	2-3-4 エネルギー資源としての活用の推進	2
2-4 ごみに対する意識改革	2-4-1 情報の共有と発信	1
2-5 環境美化の推進	2-5-1 美化活動の推進	3
2-6 ごみの適正処理	2-6-1 ごみの収集・処理の最適化	4
	2-6-2 ごみ処理による環境への負荷の低減	1
合 計		27

取組の基本的方向 2-1 ごみの発生抑制 Refuse & Reduce !

取組 2-1-1 環境にやさしい製品の普及

取組項目	事業等の内容	担当
環境にやさしい製品の普及	①私たちはごみは買いません（パートⅠ・ごみの出ない環境に優しい製品の普及を推進） 目的：製品の製造から流通・販売に至るまでごみの出ない工夫に取り組む（製品や）販売店を支援し普及を図る。 目標：エコショップしまだ認定制度について、市と共に検討し、制度の拡充を図る。 実績：①生活クラブ生協静岡志太支部が各種リターナルびん・牛乳びんキャップ・ピッキング袋・注文書袋の再利用の普及を推進した。②島田市消費者グループがエコショップの調査を51店舗で行った。	市民グループ
ごみの出ない環境にやさしい製品を買うための調査研究と発信	②私たちはごみは買いません（パートⅡ・ごみの出ない環境にやさしい製品を買うための調査研究と発信） 目的：製造から流通・販売に至るまで環境に負荷をかけない工夫をしている製品や販売店舗を紹介して、消費者の選別行動を側面から補助するとともに、環境にやさしい製品を販売したり、工夫している店舗を応援することにより、多くの人々がごみ減量に参加できることを目指す。 目標：ごみの出ない環境にやさしい製品を市と事業者と市民グループが調査・研究し、広報やeコミしまだ等の地域メディアを利用して情報を発信していく。 実績：しまだ環境ひろばがeコミしまだを利用して、ごみを出さない工夫や活動について情報を発信した。	市民グループ

取組 2-1-2 ごみをつくらない・売らない・買わないしくみの構築

取組項目	事業等の内容	担当
マイバックの持参とレジ袋の削減	①私たちはごみは買いません（パートⅢ・「レジ袋は必要ですか？」） 目的：「便利だから」とついもらってしまうレジ袋も家に帰ればごみ。物の命を大切に、不要・不急なものは断りながら、それでもチョットおしゃれなマイバッグや風呂敷でお買い物を楽しみましょう。 目標：平成19年4月に設立した島田市マイバッグ推進協議会の参加業種の拡大を図る。 実績：市内スーパーマーケット7社13店舗でレジ有料化を継続している。	市民グループ

簡易包装・ばら売り・量り売りの推進	<p>②私たちはごみは買いません（パートⅣ・簡易包装・ばら売り・量り売りの推進）</p> <p>目的：販売者は、簡易包装・ばら売り・量り売りをする事により、省資源・コスト削減を図り、消費者はその品物を買うことによってごみ減量を支援する。</p> <p>目標：平成24年度末までに調査・研究を行う。</p> <p>実績：なし</p>	市民グループ
	<p>③島田市環境にやさしい店舗認定制度</p> <p>目的：循環型社会の形成の推進及び市民の環境保全に対する意識の高揚を図る。</p> <p>目標：エコショップはまだ認定100店舗とし、環境に対する取組が一般的に行われる状況にする。</p> <p>実績：本制度は平成24年度をもって終了した。認定店舗に対しては、県実施の「ふじのくにエコショップ宣言」への登録移行をお願いした。</p>	環境課

取組の基本的方向 2-2 再利用の促進 Reuse！

取組 2-2-1 不用品の再利用の促進

取組項目	事業等の内容	担当
生活用品活用バンクの充実	<p>①生活用品活用バンクの運営の支援</p> <p>目的：まだ使えるのに不用となった家庭用品を必要とする人に斡旋し、ごみの減量と再利用を促進するとともに、物を大切にする心を育てる。</p> <p>目標：PRに努め、できるだけ多くの利活用を目指す。</p> <p>実績：毎週火・木曜日に生活用品活用バンクを開設した。</p>	市民安全課
フリーマーケットの促進	<p>②生き生きごみ作戦（パートⅠ・フリーマーケットの促進）</p> <p>目的：使わなくなった生活用品が他の人によって再び生き生きとするために、皆が利用しやすいスタイルのフリーマーケットを推進する。</p> <p>目標：毎年フリーマーケットの開催状況を把握し、平成24年度までに皆が利用しやすいように拠点整備と再利用システムをつくる。</p> <p>実績：①アピタ島田店が不用になった衣料品を引き取り、引き換え券をプレゼントした。（引き取った衣類：184,000枚以上、引き換え券：46,000枚） ②島田市消費者グループがフリーマーケットを開催した。また、「くらし・いきいきフェア」にて、ミニマーケットを開催した。③ボカシネットワークしまだが中古衣類のリサイクルを図るため、バザーを開催した。</p>	市民グループ
粗大ごみの回収・再利用のしくみの構築	<p>③粗大ごみの回収・再利用のしくみの構築</p> <p>目的：再利用できるものは再利用し、廃棄物を減量する。</p> <p>目標：再利用できるものは、生活用品活用バンクやフリーマーケットの利用を促進し、資源の有効利用とごみの減量を図る。</p> <p>実績：収集カレンダーに「生活用品活用バンク」を掲載した。</p>	環境課

取組の基本的方向 2-3 再資源化の促進 Recycle！

取組 2-3-1 資源分別の徹底

取組項目	事業等の内容	担当
古紙回収のしくみの充実	<p>①集団回収実施団体への支援</p> <p>目的：集団回収実施団体の活動を支援することにより、市民の分別意識の高揚を図る。</p> <p>目標：古紙全体量の中の集団回収の比率を高める。</p> <p>実績：登録団体数は前年度より4団体の減少、回収量も減少傾向にある。組成調査において、古紙混入率が前年度より2.89ポイントの増加となった。</p>	環境課
ペットボトル・トレイ回収のしくみの充実	<p>②ペットボトル・トレイの拠点回収</p> <p>目的：ペットボトル・トレイの資源化の徹底を図る。</p> <p>目標：回収拠点の増加やステーション収集の充実により、回収量を増やす。</p> <p>実績：広報紙等で分別の徹底をPRした。組成調査の結果、ペットボトルの可燃ごみへの混入率は前年度より0.07ポイント減少した。</p>	環境課
新たな資源分別区分の検討	<p>③新たな資源分別区分の検討</p> <p>目的：更なる資源化を進め、廃棄物を減量する。</p> <p>目標：新たな資源分別を増やす。</p> <p>実績：指定法人（容器包装リサイクル協会）の処理ルートと市独自の処理ルートとの併用が難しく、「色つきトレイ」の処理ルートが確立できなかった。</p>	環境課

取組 2-3-2 生ごみの資源化の推進

取組項目	事業等の内容	担当
生ごみの資源化の手法の調査・研究	①生ごみ堆肥化の調査・研究 目的：生ごみを堆肥化し、廃棄物の減量を推進する。 目標：生ごみを堆肥化する実施可能な方法について調査・検討を行う。 実績：藤枝市が実施する生ごみの分別収集について調査・研究を行った。	環境課
	②生き生きごみ作戦（パートⅡ・生ごみ資源化の手法の調査・研究） 目的：生ごみは最も身近な資源なので、その活用方法の調査・研究を進め、ごみ減量と資源化を目指す。 目標：毎年、調査・研究を行う。 実績：①しまだ環境ひろばが生ごみの分別収集について、モデル候補地区と意見交換を行った。②生ごみ資源化地域協議会、島田市の循環型社会を考える会及びしまだ環境ひろばが共同で、市内の4つの小学校を介して、「ごみの分別とリサイクルに関する意識調査」を実施し、その分析と報告会を行った。（一般家庭276世帯が調査協力）	市民グループ
生ごみの堆肥化の地域循環のしくみの構築	③生ごみの地域循環システムの検討、モデル事業の支援 目的：家庭等から出される生ごみの資源化を図る。 目標：生ごみ堆肥化等事業を行うものに対する支援をし、生ごみ堆肥の農業利用システムについて検討する。 実績：なし	農政課
	④生き生きごみ作戦（パートⅢ・生ごみ堆肥化の地域循環のしくみをつくる） 目的：生ごみを回収して堆肥化⇒その堆肥で農産物を生産⇒農産物を買うという、物と人とのネットワークをつくり、生ごみを資源として地域での循環を図り、ごみ減量を目指す。 目標：平成24年度までに生ごみの資源化を目指し、地域循環のモデルを構築する。1,000世帯の参加を目標とする。 実績：①まちづくり川根の会が地域全体で段ボールによる生ごみ資源化に取り組んだ。②ポカシネットワークしまだがポカシ堆肥作りを行った。③金谷ライフクリエーターサークルが生ごみ利用の堆肥作りを行った。④しまだ環境ひろばが「さんさんボックス法」による生ごみの堆肥化の定着を目指し、市内市民農園2箇所に拠点を設置し、堆肥作りを行った。	市民グループ
生ごみの処理容器等購入への補助制度の維持	⑤生ごみ処理容器等購入費補助金 目的：家庭から排出される生ごみを減量するとともに、ごみ減量に対する意識の高揚を図る。 目標：生ごみ処理容器等の購入を補助し、家庭から排出される生ごみの減量を図る。 実績：コンポスト10台、生ごみ処理機31台の購入に対して補助金を交付した。広報紙やFM島田で故障時の再度補助適用等をPRし、購入件数の増加につながった。	環境課
食品関連事業者による食品リサイクルの推進	⑥食品関連事業者による食品リサイクルの推進 目的：食品廃棄物の発生抑制・減量・リサイクルを推進する。 目標：生ごみの堆肥化を促進する。 実績：年間で10.8tの堆肥を販売・配布した。	環境課

取組 2-3-3 剪定枝・落ち葉の資源化の推進

取組項目	事業等の内容	担当
公園等から発生する剪定枝・落ち葉の堆肥化の推進	①剪定樹木堆肥化の推進 目的：草木系廃棄物の適正処理の観点から、廃棄物としての発生抑制・リサイクルの拡大を図る。 目標：剪定樹木の堆肥化を推進し、草木系廃棄物の有効利用を図る。 実績：剪定枝搬入量42t、資源化(腐葉土)量32tであり、田代環境プラザでの販売・イベント時の配布を行った。剪定枝堆肥は非常に人気があり、販売時は即日完売している。	環境課

取組 2-3-4 エネルギー資源としての活用の推進

取組項目	事業等の内容	担当
ごみ焼却排熱の有効利用	①ごみ焼却排熱の有効利用 目的：ごみ処理施設の排熱を利用して発電し、エネルギーとして有効に活用する。 目標：省エネルギーの推進のため、排熱を利用した発電により、施設内の電力を賄い、余剰電力については売電する。 実績：田代環境プラザの排熱利用による発電量は、前年度より3,690kWh増加した。また、電力使用量の87.9%を自家発電により賄った。	環境課
エネルギー資源としての活用の調査・研究	②エネルギー資源としての活用の調査・研究 目的：地域で発生する廃棄物のエネルギー利用を進める。 目標：廃食油等のエネルギー有効利用を進める。 実績：川根消費生活桜美会がペットボトルキャップの回収（82.25kg）に取り組み、恵まれない国の子どもたちにワクチン（41人分）を贈る運動に協力した。	市民グループ

取組の基本的方向 2-4 ごみに対する意識改革

取組 2-4-1 情報の共有と発信

取組項目	事業等の内容	担当
ごみに関する情報の共有と発信	①ごみに関する情報の共有と発信 目的：ごみの減量に向けた取組を徹底する。 目標：ごみに関する情報の共有・発信を進め、ごみへの関心を高める。 実績：広報紙及びホームページでごみに関する情報提供を行った。また、田代環境プラザの見学者に対して、ごみの減量に向けた啓発を行った。	環境課

取組の基本的方向 2-5 環境美化の推進

取組 2-5-1 美化活動の推進

取組項目	事業等の内容	担当
地域の美化活動の推進	①地域住民による美化活動の支援 目的：環境美化への意識高揚を図る。 目標：市民の自主的な取組による清潔で住みよい環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 実績：市内一斉環境美化活動（川ざらい）を4月7・8日に行い、1,107tの土砂を浚渫し、最終処分場に搬入した。また、川ざらい時の搬入車両の賃借料に対して、全体で1,063千円の補助を行った。	環境課
里親制度導入の検討	②ボランティア・サポート・プログラム事業 目的：ごみのない美しいまちづくりを推進する。 目標：ボランティア・サポート・プログラムに基づく、地域住民や団体等の自主的な活動による環境美化活動を推進する。 実績：ボランティア・サポート・プログラムに基づき、地域住民や団体等による国道1号インターチェンジ周辺の環境美化活動を支援した。	環境課

	<p>③島田市全域へのごみの里親制度の定着化</p> <p>目的：市民と行政の協働によりごみのない街づくりを推進する。</p> <p>目標：国土交通省のボランティア・サポート・プログラムや静岡県のアダプト・ロード・プログラム等のしくみを島田市全域に拡大する。</p> <p>実績：①静岡県トラック協会中部支部、島田商工会議所、島田青年会議所、番屋金谷、CRCセントラルリバークラブ、㈱伊東工業、家庭倫理の会静岡中部、島田市職員互助会、環境市民くらぶがボランティア・サポート・プログラムによる国道1号バイパスのごみ拾いを実施した。②大津谷川を愛する会が大津谷川のごみ拾いを実施し、軽トラック約10台分のごみを回収した。③家庭倫理の会静岡中部が初倉の中条影昭像周辺の清掃活動を実施した。④まちづくり川根の会がアダプト・ロード・プログラムにより、島田川根線（身成地区）の清掃・草刈りを実施した。⑤山ざくら・もみじの会がアダプト・ロード・プログラムにより、県道64号川根町渡島地先の清掃・草刈りを実施した。⑥金谷コミュニティ委員会環境部会が県道島田金谷線のごみ拾いを実施した。金谷文化産業祭においてアルミ缶の収集を行った。また、金谷地区の環境自治推進員が大代川のごみ拾いを実施した。⑦金谷ライフクリエイターサークルが金谷コミュニティと合同により、県道島田金谷線のごみ拾いを実施した。⑧大津自治会が大津地区全域の清掃活動を実施した。</p>	市民グループ
--	---	--------

取組の基本的方向 2-6 ごみの適正処理

取組 2-6-1 ごみの収集・処理の最適化

取組項目	事業等の内容	担当
ごみ処理施設の計画的な整備の推進	<p>①一般廃棄物最終処分場維持管理</p> <p>目的：廃棄物の適正処理及び水処理施設の維持管理を行う。</p> <p>目標：現行施設の延命化を図り、有効利用する。</p> <p>実績：ごみ埋立量は3,795㎡、掘り起こし量は2,524㎡であり、延べ埋立量が1,271㎡増加した。</p>	環境課
事業者が排出するごみの適正処理	<p>②事業者が排出するごみの適正処理指導</p> <p>目的：事業者の廃棄物に対する意識高揚を図る。</p> <p>目標：排出者の自己処理責任に基づいた適正処理を促進する。</p> <p>実績：収集カレンダーと商工会議所等の会報で、ごみ集積場への事業所ごみの排出禁止と事業所ごみの処理方法を掲載し、事業者責任の徹底を図った。</p>	環境課
ごみの収集ルールを検討	<p>③ごみ収集ルールの検討</p> <p>目的：最適な収集ルールを確立する。</p> <p>目標：新たなごみ分別ルールを検討し策定する。</p> <p>実績：市民の分別に関する問い合わせを精査し、収集カレンダーの一部変更や「ごみ分別辞典」の品目を増やして、カレンダーの内容を拡充した。</p>	環境課
ごみの不法投棄の防止	<p>④島田市環境衛生自治推進協会による不法投棄のパトロール</p> <p>目的：ごみや産業廃棄物の不法投棄をなくす。</p> <p>目標：不法投棄のパトロールを実施し、市民・事業者の意識高揚を図る。</p> <p>実績：主に初倉地区を対象として、5回のパトロールを実施した。</p>	環境課
	<p>⑤不法投棄の防止に関する検討会開催</p> <p>目的：不法投棄を防止する。</p> <p>目標：行政・事業者・市民が集まり、デポジット制度の導入やリターナブルびんの推進などの検討を行う。</p> <p>実績：なし</p>	市民グループ

取組 2-6-2 ごみ処理による環境への負荷の低減

取組項目	事業等の内容	担当
収集車両及び処理施設からの環境負荷の低減	<p>①低公害の収集車両導入の推進及び処理施設からの環境負荷の低減</p> <p>目的：低公害車の導入により環境負荷の低減を図る。施設からのダイオキシン類の発生を抑制する。</p> <p>目標：委託業者の使用車両を含めた低公害車両の導入率の向上を図る処理施設からのダイオキシン類濃度の排出基準値（地元協定値：0.05ng-TEQ/m³N）を遵守する。</p> <p>実績：更新車両2台を低公害車とした。処理施設では、ガス燃焼温度を800℃に保つ運転をした。</p>	環境課

3 エネルギー・まちと交通

3-1 取組の実施結果及び評価

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
電気使用量	713,492Mwh (H16年度)	795,543Mwh	現状維持	未達成

※基準値は旧島田市・旧金谷町・旧川根町のデータがあるH16年度とする。

【評価】

- 年度によってばらつきはあるものの、概ね増加傾向にあります。
- 平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、浜岡原子力発電所が稼働停止となり、夏季の電力供給不足が懸念されたため、島田市役所では、平成23年度から夏季（7月～9月）における重点的な節電取組を実施しています。全職員の取組により、平成22年度と比べて平成23年度は約15%、平成24年度は約17%の電気使用量を削減しました。
- 近年では、LED照明や高効率給湯器の普及が進んでいるとともに、平成12年にJIS規格として導入された省エネラベリング制度により、消費者が省エネ型製品を選びやすい環境が整備されています。今後も省エネ型製品の導入に関する情報提供を行い、市民・事業者への普及啓発を図ります。
- 再生可能エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス）を用いて発電された電気を、国が定める固定価格で一定期間電気事業者調達を義務付ける「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が平成24年7月にスタートしました。これにより、特に太陽光発電への需要・関心が高まっています。本市では、平成14年度から住宅用太陽光発電システムの設置に対する補助を実施していますが、今後もこれを継続し、太陽光を含めた再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。
- 平成24年度において伊太田代地区へのメガソーラーの設置を計画しました。年間の想定発電量は約2,340Mwhであり、一般家庭約600世帯分の年間消費電力量に相当します。また、国営大井川用水農業水利事業では、小水力発電を行う伊太発電所の建設を平成23年8月から行いました。年間の想定発電量は約4,300Mwhであり、一般家庭約1,200世帯分の年間消費電力量に相当します。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
自動車保有台数	84,967台 (H13年度)	86,124台	減少	未達成

※基準値は旧島田市・旧金谷町・旧川根町の合計値

【評価】

- 基準年度より増加していますが、平成19年度以降は減少傾向にあります。
- 島田市役所では、通勤時の自動車利用に伴う環境負荷を低減するため、平成20年12月から全職員による月に1回のノーカーデーを実施しています。今後もこの取組を継続するとともに、市民・事業者への拡大を目指します。
- 近年では、低公害車（電気自動車、ハイブリッド自動車、低燃費・低排出認定車等）の普及が進んでいます。今後も市の公用車への導入を進めるとともに、市民・事業者への普及啓発を図ります。

3-2 事業等の内容

事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成24年度の事業等実施数
3-1 温暖化防止対策の推進	3-1-1 総合的な温暖化防止対策を目指した取組の推進	1
3-2 省エネルギーの推進	3-2-1 省エネルギー行動の促進	6
	3-2-2 省エネルギー型機器導入の推進	6
3-3 地域エネルギー利用の推進	3-3-1 太陽エネルギー利用の促進	5
	3-3-2 地域エネルギー利用の推進	2
3-4 ちょっくら歩ける道路とにぎわいのまちづくりの推進	3-4-1 歩きやすい道路の整備	3
	3-4-2 人にやさしくにぎわいのあるまちづくりの推進	1
3-5 環境にやさしく、災害に強いまちづくり	3-5-1 市街地等の家屋密集地の防災体制の整備	2
	3-5-2 まちなかのみどりを活かした防災体制の整備	1
合 計		27

取組の基本的方向 3-1 温暖化防止対策の推進

取組 3-1-1 総合的な温暖化防止対策を目指した取組の推進

取組項目	事業等の内容	担当
総合的な温暖化対策を目指した取組の推進	<p>①島田市地球温暖化対策実行計画の推進</p> <p>目的：温室効果ガスの排出抑制に努め、地球温暖化防止に寄与する。</p> <p>目標：温室効果ガス排出量を平成21年度を基準として5%削減する。 （目標値 16,324t-CO₂/年）（目標年：平成27年）</p> <p>実績：対象となる全ての市公共施設についてエコアクション21の認証・登録を取得した。エコアクション21の運用により温室効果ガスの排出量が基準年度より2.8%削減された。</p>	環境課

取組の基本的方向 3-2 省エネルギーの推進

取組 3-2-1 省エネルギー行動の促進

取組項目	事業等の内容	担当
家庭版環境マネジメント事業の推進	<p>①家庭版環境マネジメント事業（ふじのくにエコチャレンジDAYs事業）</p> <p>目的：環境に配慮した生活を推進する。</p> <p>目標：平成24年度までに2,000世帯の参加を目標とする。</p> <p>実績：1,017世帯にチャレンジシートを配布し、862世帯から回収した。二酸化炭素排出削減量は2,397.6kgであった。</p>	環境課
エコアクション21認証取得の促進	<p>②事業所に対するエコアクション21認証制度の導入</p> <p>目的：事業所における日常的な省資源・省エネルギー行動の推進を図るため、エコアクション21認証制度の取得を促進する。</p> <p>目標：毎年、自治体イニシアティブ・プログラムによる取得セミナーを実施し、300事業者の取得を目指す。</p> <p>実績：2事業者が自治体イニシアティブ・プログラムに参加した。平成23年度に取得セミナーを受講した3事業者を含む市内5事業者がエコアクション21の認証を取得した。</p>	環境課

「省エネルギーの日」の推進	<p>③「省エネルギーの日」の推進</p> <p>目的：省エネルギーの日についての意識の高揚を図り、省エネ行動に取り組む。</p> <p>目標：市民全員が取り組む。(環境フェア等のアンケート調査により確認する。)</p> <p>実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、省エネのPRを行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだ・歩歩路の掲示板にて、省エネルギーの日と「家庭でできる節電対策10」をPRした。また、環境フェア、歩歩路、夢づくり会館に「挑戦しよう！地域エネルギーの創出と賢い節電」の大看板を展示した。③生活協同組合ユーコープがグリーンコンテストを実施し、県内で25作品の応募があった。</p>	市民グループ
自動車利用に伴う環境負荷の低減	<p>④コミュニティバス運行</p> <p>目的：自動車交通量の抑制により、自動車利用に伴う環境負荷の低減を図る。</p> <p>目標：コミュニティバス路線の拡大と利用促進を図る。</p> <p>実績：・バリアフリー対応車両の導入 (中型ノンステップバスを購入、3月末より運行) ・バスマップ、時刻表の作成 (転入者への窓口での配布、各出先機関等への配置)</p>	市民安全課
	<p>⑤ノーカーデーの実施</p> <p>目的：通勤等における自動車利用の抑制により、環境負荷の低減を図る。</p> <p>目標：毎月1回、臨時職員・嘱託職員を含む全職員がノーカーデーに協力し、二酸化炭素排出量を削減する。</p> <p>実績：前年度と比べて二酸化炭素削減量が2.5%、ノーカーデー参加率が5.7ポイント増加した。</p>	環境課
	<p>⑥カーフリーデーの実施</p> <p>目的：カーフリーデーのPRと行動を推進する。</p> <p>目標：市民全員が取り組む。(環境フェア等のアンケート調査により確認する。)</p> <p>実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアにて、アンケート調査によるカーフリーデーの実態調査を行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、カーフリーデーの意義とその勧めについてPRした。③環境市民くらぶが歩歩路の掲示板に、しずてつジャストラインが実施する「エコ家族割引」のチラシを掲示した。④生活協同組合ユーコープが年間を通じて配送時のエコドライブを実施した。</p>	市民グループ

取組 3-2-2 省エネルギー型機器導入の推進

取組項目	事業等の内容	担当
省エネルギー型機器導入のための情報の発信	<p>①省エネルギー型機器導入のためのマニュアルの活用</p> <p>目的：情報紙やフェアを通して、省エネルギー型機器についての情報を積極的に発信する。</p> <p>目標：全世帯において省エネルギー型機器導入のための既成のマニュアルを活用する。</p> <p>実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、省エネルギー型機器について情報を発信した。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、省エネルギー型機器の導入や白熱灯からLEDへの交換についてPRした。</p>	市民グループ
省エネルギー型機器の導入への経済的な支援制度の利用促進	<p>②省エネルギー型機器導入への経済的な支援制度についての情報提供</p> <p>目的：省エネルギー型機器導入を促進することにより、環境負荷の低減を図る。</p> <p>目標：広報紙やホームページへの掲載、またパンフレット等により、支援制度についての情報提供を行う。</p> <p>実績：ホームページにより、省エネルギー型機器について情報発信した。</p>	環境課
	<p>③経済的な支援制度の利用促進</p> <p>目的：経済的支援制度の内容について市民に周知を図り、省エネルギー型機器の導入を推進する。</p> <p>目標：環境フェアなどを通して、年2回以上情報発信を行う。</p> <p>実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、国・県等の支援制度のPRを行った。②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、省エネルギー型機器の導入支援情報を発信した。</p>	市民グループ
環境にやさしい自動車の導入の促進	<p>④低公害車の導入に対する補助制度等についての情報提供</p> <p>目的：低公害車等の導入により、自動車利用に伴う環境負荷の低減を図る。</p> <p>目標：広報紙やホームページへの掲載、またパンフレット等により、補助制度についての情報提供を行う。</p> <p>実績：ホームページで、エコカー減税及びエコカー購入補助金についてお知らせした。</p>	環境課

	<p>⑤環境にやさしい自動車の導入促進 目的：支援制度の内容について市民に周知を図り、環境にやさしい自動車の導入を促進する。 目標：環境フェアなどを通して、年2回以上情報発信を行う。 実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、情報を発信した。 ②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、次世代自動車（ハイブリッド車・電気自動車・燃料電池自動車）をPRした。</p>	市民グループ
	<p>⑥環境にやさしい自動車（低公害車）の導入 目的：公用車への環境にやさしい自動車（低公害車）の導入を推進し、環境負荷の低減を図る。 目標：公用車の更新に併せて、低公害車（ハイブリッド車等）の導入を図る。 実績：更新車両は全て低公害車とした。それに伴い、公用車全体に占める低公害車の割合が上昇した。</p>	管財課

取組の基本的方向 3-3 地域エネルギー利用の推進

取組 3-3-1 太陽エネルギー利用の促進

取組項目	事業等の内容	担当
太陽エネルギー利用に関する普及啓発	<p>①住宅用太陽光発電システム・太陽熱利用温水器設置費補助制度の周知 目的：本制度を積極的に利用していただくため普及啓発活動を実施し、市民への周知を図る。 目標：太陽エネルギーの積極的な利用が行われるように市民への周知、意識の高揚を図る。 実績：市ホームページでのお知らせ（通年）、広報紙への掲載（6月号、10月号）、環境フェア（6月2日）でのPRにより、補助制度を周知した。また、補正予算による受付再開について、事業所へお知らせ（9月1日）を送付した。</p> <p>②利用についてその効果や利用設備に関する情報の発信 目的：太陽エネルギー設備の利用拡大のため、情報紙や環境フェアを通して情報を発信する。 目標：毎年環境月間に合わせて環境フェアを開催する。情報紙へ掲載しPRする。 実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、情報を発信した。 ②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、太陽光発電やその他再生可能エネルギーの意義とその有効性をPRした。</p> <p>③太陽光発電の公共施設への導入 目的：クリーンエネルギーである「太陽エネルギー」の利用促進を図る。 目標：公共施設の整備（学校施設の改築を含む）に合わせ、太陽光発電施設の導入を図る。 実績：新たな公共施設への設置を検討した。</p>	環境課 市民グループ 建築住宅課
太陽エネルギー利用設備導入の促進	<p>④住宅用太陽光発電システム・太陽熱利用温水器設置費補助金 目的：地球温暖化等の環境問題が進む中で、温室効果ガス削減のための市民の取組を推進するため、個人での実施が可能でクリーンエネルギーのひとつである太陽エネルギー利用促進事業に補助金を交付し、環境啓発を推進する。 目標：太陽エネルギー利用設備導入助成利用者の発電累計容量を平成25年度までに2,890kWを目指す。（総合計画より） 実績：住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金の利用件数は374件、発電容量は1,672.29kWあった。申請が殺到したため、補正予算により補助枠を拡大した。</p> <p>⑤太陽エネルギー利用の拡大 目的：太陽エネルギー設備利用の導入を図る。 目標：一般住宅で5%、公共施設で50%の普及を目指す。 実績：①環境フェアネットワーク島田が環境フェアを開催し、情報を発信した。 ②しまだ環境ひろばがeコミしまだにて、太陽光発電の意義とその経済性や利用者の実態についてPRした。</p>	環境課 市民グループ

取組 3-3-2 地域エネルギー利用の推進

取組項目	事業等の内容	担当
地域エネルギー利用に関する普及啓発	<p>①地域エネルギー導入の促進</p> <p>目的：地域で発生するものを利用したエネルギーの資源化を推進する。</p> <p>目標：廃食油をエネルギーに転用する。菜の花プロジェクトの拡大を図る。</p> <p>実績：①環境市民くらぶが菜種の栽培を行った。(40a) また、参加市民7名に対してBDFオイルの効用をPRした。②水と里山を守る会が菜種栽培を行った。また、収穫した菜種から「菜の花食用油」を精製し、BDFとして運送会社にも提供した。③そのだ農園が菜種の栽培を行った。(20a) ④しまだ環境ひろばが菜種の栽培を行った。(9a) また、油桐や唐ゴマの栽培実験を継続し、BDF化について研究した。業者に菜種の搾油加工を依頼し、完成した菜種油を保育園に寄贈した。</p>	市民グループ
	<p>②伊太谷川の水力発電と水害防止、親しめる水辺づくり</p> <p>目的：地域エネルギーの開発と防災対策、親水空間の取り戻しを行う。</p> <p>目標：計画の普及啓発を行う。</p> <p>実績：①環境市民くらぶが環境フェアでパネルを展示しPRした。また、国内小水力発電所の調査を継続して実施し、計画の具体化を検討した。②しまだ環境ひろばが県の小水力発電等協議会の正会員となり、総会・ワーキング会議・セミナー等に参画した。大井川土地改良区と小水力発電について意見交換を行った。新エネ情報交換会を開催した。環境フェアで「挑戦しよう！地域エネルギーの創出と賢い節電」の大看板を設置した。市民環境塾「第2回大井川用水をバスでたどってみよう」を開催し、小水力発電の可能性を研究した。行政の企画部門に小水力発電に関する情報を提供した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 3-4 ちょっくら歩ける道路とにぎわいのまちづくりの推進

取組 3-4-1 歩きやすい道路の整備

取組項目	事業等の内容	担当
ユニバーサルデザインを取り入れた道づくりの推進	<p>①人にやさしいまちづくり推進プラン（計画区域）</p> <p>目的：島田市障害者計画に基づき、障害者・高齢者等に配慮した道路等の公共施設の改善・整備を行う。</p> <p>目標：ユニバーサルデザインの趣旨、静岡県福祉のまちづくり条例に適合した施設整備を推進し、「安全でわかりやすく快適に移動できる」を視点に、まちづくり整備事業等とも連動した公共施設づくりを行う。</p> <p>実績：平成21年度に計画区域については事業が完了した。</p>	福祉課
	<p>②島田市交通バリアフリー法基本構想</p> <p>目的：平成17年2月に策定した「島田市交通バリアフリー法基本構想」に基づき、高齢者・障害者等の通行の円滑化を図るため、歩道のバリアフリー化整備を行う。</p> <p>目標：基本構想の中では、JR島田駅を中心とした徒歩圏内で、公共施設や日常生活で利用する施設が集中している区域を重点整備地区（88ha）とし、当地区内で駅と主要施設を結ぶ6本の経路（総延長：3.1km）を「特定経路」と位置付け、バリアフリー化を図っていく。</p> <p>実績：なし</p>	福祉課
安全性に配慮した道づくりの推進	<p>③幹線道路及び生活道路における歩道整備</p> <p>目的：歩行者や自転車利用者が安心して通行できる道路整備を推進する。</p> <p>目標：島田地区については、横井中央線の整備（交付金事業）を平成28年度、扇町祇園線の整備を平成25年度までに完了する。六合地区については、東町地区都市再生整備事業により、東町御請線の整備を行う。初倉地区については、中河南原線、谷口中河線、色尾大柳線及び住吉金谷線と（主）島田吉田線BPの幹線道路網により、歩道のネットワークづくりを計画的に進める。金谷地区については、横岡新田牛尾線、牧之原中講線、富士見2号線の道路改良事業により、整備を実施する。川根地区については、国道473号等の歩道整備の継続を要望していく。（県事業）</p> <p>実績：二軒家牛尾線（299.5m）の歩道整備を実施した。</p>	建設課

	<p>④通学路の安全性確保 目的：安心して子どもたちが通学できるよう、通学路（登下校）における安全を確保する。 目標：登下校中の通学路での交通事故ゼロを目指す。 実績：通学路における緊急合同点検を行い、17箇所の対応必要箇所が確認された。その箇所の改善については、教育委員会、学校、市関係各課、警察、県土木事務所が連携して対応している。また、各校においても危険箇所の確認、交通安全教室の開催、PTA等の街頭指導により、登下校時の交通安全を図ることができた。</p>	学校教育課
	<p>⑤自転車等放置の防止に向けた自転車等駐車場の運営 目的：自転車の放置を防止し、歩きやすい道路環境とする。 目標：島田駅周辺自転車等放置規制区域内の放置自転車を削減する。 実績：島田駅北口・南口自転車等駐車場は、（社）島田市シルバー人材センターに運営を委託し、365日供用した。島田駅周辺自転車等放置規制区域における巡回活動等も（社）島田市シルバー人材センターに委託し、365日実施した。</p>	市民安全課

取組 3-4-2 人にやさしくにぎわいのあるまちづくりの推進

取組項目	事業等の内容	担当
歩いて楽しめるまちづくり	<p>①歩いて楽しめるまちづくりの推進 目的：島田らしさを感じることが出来る歩いて楽しいまちづくりを進める。 目標：案内板の設置や、まちの案内人制度の充実を図り、市内に点在する史跡・観光地・公園・商業地をネットワーク状につなぐため、現状を調査する。 実績：①山ざくら・もみじの会が県道64号川根町渡島地先等で草刈りを行った。 ②環境市民くらぶが本通七丁目街路にフラワーポットを設置し、3回の植え替えを行った。また、一部のフラワーポットは、住民により水やり管理が行われた。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 3-5 環境にやさしく、災害に強いまちづくり

取組 3-5-1 市街地等の家屋密集地の防災体制の整備

取組項目	事業等の内容	担当
電線類地中化の推進	<p>①無電柱化事業 目的：安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、都市景観の向上等を図る。 目標：静岡県第二期無電柱化推進計画に基づき、横井中央線の道路拡幅事業の進捗に合わせて延長0.72kmの早期整備を目指す。 実績：無電柱化の既定路線と整備計画が作業完了し、L=116mの工事発注を行った。（平成25年10月完成予定）</p>	都市計画課
雨水貯留・雨水利用設備設置の推進	<p>②雨水浸透施設設置費補助事業の推進 目的：洪水の発生を防止し、地下水を涵養する。 目標：雨水浸透施設設置者に対し補助金を交付する。 実績：建築事務所及び設置業者に補助制度のパンフレットを送付し、制度を周知した。また、本庁舎の総合受付付近に雨水浸透ますの実物を展示し、市民に対してPRを行った。その結果、6件（9基）の申請に対して補助金を交付した。</p>	都市計画課
	<p>③雨水貯留施設の整備 目的：雨水の多目的な利用を行う。また、災害時の生活用水を確保する。 目標：公共施設への貯留施設を整備し、雨水の再利用を図る。 実績：新たな雨水貯留施設の設置は実施されなかった。</p>	都市計画課

取組 3-5-2 まちなかのみどりを活かした防災体制の整備

取組項目	事業等の内容	担当
防災機能をもったみどりの整備	<p>①生け垣づくり補助事業の推進 目的：みどり豊かなまちづくりを推進するとともに、地震等による災害防止に寄与する。 目標：生け垣づくり補助事業を推進する。 実績：広報しまだ等に生け垣づくり補助金制度について掲載し、周知を図った。（実績）24件 1,433千円</p>	市街地整備課

4 食生活

4-1 取組の実施結果及び評価

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
学校給食への地場産品取り入れの割合（重量ベース）	12.2%	32.0%	40%	未達成

【評価】

- ・目標値の達成には至りませんでした。基準値より大きく増加しています。
- ・平成19年度～平成22年度は39%付近で推移しており、平成23年度は40.8%で、目標値を達成しました。平成24年度は市内の米生産量の減少により、納入先を市外に広げたため、割合が低下しました。
- ・今後も学校給食への地場産品の導入を進め、地産地消の推進を図ります。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
地場産品の域内流通の割合	20%	—	現状維持	—

【評価】

- ・統計資料に基礎数値が示されていないため、実績値が算出されません。
- ・全国的な傾向と同じく、本市の農業も就業者の減少や兼業化、高齢化、それに伴う耕作放棄地の問題を抱えています。農林業センサスによると、平成22年の農家人口は9,578人であり、平成12年と比較すると、約50%にまで落ち込んでいます。また、平成22年の経営耕地面積は2,314haであり、平成12年と比較すると、約22%減少しています。今後は農業経営の複合化や新規就農を支援し、農業の担い手を育成します。
- ・今後も直売所や小売店への地場産品販売コーナーの設置を進めるとともに、朝市マップの発行等による情報発信を行い、地産地消の推進を図ります。

4-2 事業等の内容

事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成24年度の事業等実施数
4-1 生産者の顔が見える安全な地場産品の普及	4-1-1 地産地消のしくみの構築	2
	4-1-2 消費者への情報の発信	2
4-2 農業を身近に感じるくらしの推進	4-2-1 農業を支えるしくみの構築	3
4-3 安全で豊かな学校給食の推進	4-3-1 安全で地域性あふれた食材の導入	1
	4-3-2 学校給食を通じた食育の推進	6
4-4 食への関心を高める行動の推進	4-4-1 栽培・収穫・加工体験の推進	3
	4-4-2 伝統的な食材や味の伝承	1
	4-4-3 食生活に関する学習の推進	2
4-5 環境負荷の少ない食生活の推進	4-5-1 エコクッキングの推進	1
合 計		21

取組の基本的方向 4-1 生産者の顔が見える安全な地場産品の普及

取組 4-1-1 地産地消のしくみの構築

取組項目	事業等の内容	担当
地場産品の販路の確保	①島田市地産地消推進連絡会の開催 目的：食生活に対して安心・安全への関心が高まる中、朝市グループ、J A大井川、市民グループと市が連携し、地産地消の推進を図る。 目標：定期的に連絡会を開催し、参加団体を増やす。 実績：例年の島田市地産地消推進連絡会の開催、農業祭の開催（島田産業まつりへ参加）、市町対抗物産展、大井川マラソンに加え、新たにふじのくに農芸品フェア、軽トラ市等のイベントへ参加した。	農政課
生産者・流通業者・消費者の交流の場の構築	②地産地消のしくみづくり 目的：地産地消のしくみづくりに向けて生産者・流通業者・消費者の交流の場を持つ。 目標：毎年1回以上交流の場を設ける。 実績：①生産者22団体、流通業者4団体、消費者3団体が地産地消推進連絡会に参加した。②生産者13団体が農業祭に出店した。③J A大井川女性部が地場産品を使用した手作り料理の普及、地域の貴重な伝統食の継承、地産地消の推進を目的として、クッキングフェスタを開催した。④やまゆりがさくら茶屋・大久保キャンプ場と連携して、地そばフェアを開催した。やまゆりでは、地元産のそば粉を使用した「厳選もりそば」を提供した。⑤島田市商工会川根町支所が「川根いなりで包んであげ隊」の活動を実施し、各商店やイベント時に販売を行った。	市民グループ

取組 4-1-2 消費者への情報の発信

取組項目	事業等の内容	担当
地産地消に関する情報の提供	①朝市マップの更新 目的：地産地消に取り組んでいる朝市グループを紹介する朝市マップの掲載内容を更新していくことにより、地産地消の推進を図る。 目標：朝市マップの掲載内容を更新する。 実績：朝市マップに新たに「島田汁」のレシピを追加した。例年どおり4,000部印刷し、次年度に関係団体・市内施設等に配布する。	農政課

	<p>②朝市の取組や商店での地場産品コーナーについての調査及び広報 目的：地場産品の流通状況を知り、広く広報を図る。 目標：朝市マップにある生産者への取材、市内スーパーの農産物売り場の見学調査を行う。調査内容をしまだ環境ひろばニュース等に掲載する。 実績：①しまだ環境ひろばがくらし・いきいきフェア、ふれあい広場に出展し、地場産物の斡旋を通じて、地産地消の情報を発信した。②そのだ農園が農園だより・ブログにて情報を発信した。③やまゆりが夏祭り（8月）・暮の市（12月）・旬の市（3月）等のイベント開催時に、案内を兼ねた情報紙を発行した。</p>	市民グループ
--	---	--------

取組の基本的方向 4-2 農業を身近に感じるくらしの推進

取組 4-2-1 農業を支えるしくみの構築

取組項目	事業等の内容	担当
環境に配慮した農業の推進	<p>①環境保全型農業の推進 目的：環境に配慮した施肥や適正防除の実施を推進するとともに、JA大井川が設置運営している「環境にやさしい持続的農業の実践に向けた施肥監視システム（ECセンサー）」の有効利用の啓発を行う。 目標：環境保全型農業を推進する。 実績：雨量、気温等をリアルタイムで知ること、圃場の乾燥度や病害虫の発生が予測でき、それらを基に環境に配慮した農業を推進した。</p>	農政課
農業に関する情報の共有	<p>②農業に関する情報の提供 目的：市の広報紙等に農政関係の行事等を掲載し、市民が農林業に接する機会を提供する。 目標：市民の農林業についての知識を深めてもらう。 実績：体験型、参加型事業のPRや農薬安全指導のため、広報紙に農業関係情報を掲載した。野菜作り講座については、新たに市民農園において実践型の講座を開催し、市民が直接農業に接する機会を提供した。</p>	農政課
	<p>③情報紙の発行と展示説明 目的：市内各地各グループで行われている農作物の栽培体験事業を中心とした情報を提供する。 目標：情報紙の発行、また、産業まつりやくらしのフェア等で展示を行う。 実績：①しまだ環境ひろばがくらし・いきいきフェア、ふれあい広場に出展し、情報を発信した。②そのだ農園が農園だより・ブログにて情報を発信した。③やまゆりが夏祭り（8月）・暮の市（12月）・旬の市（3月）等のイベント開催時に、案内を兼ねた情報紙を発行した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 4-3 安全で豊かな学校給食の推進

取組 4-3-1 安全で地域性にあふれた食材の導入

取組項目	事業等の内容	担当
安全で地域性あふれた食材取り入れのしくみの構築	<p>①学校給食地産地消推進事業 目的：学校給食に安全な地場産品を導入する。 目標：学校給食への地場産品の導入割合を平成24年で40%を目指す。（市内生産分） 実績：重量32.0%、品目数45.4%の市内地場産物の納入を行った。</p>	学校教育課

取組 4-3-2 学校給食を通じた食育の推進

取組項目	事業等の内容	担当
食育ボランティアの導入と活用	<p>①食育ボランティアの導入と活用 目的：ボランティアを活用した食育を推進する。 目標：すべての学校に食育ボランティアを導入し、ボランティアを活用した食育に取り組む。 実績：市内の小中学校25校のうち11校で食育ボランティアを導入し、65人が食育に取り組んだ。</p>	学校教育課

	<p>②食育の実施状況調査 目的：学校の食育指導にボランティアがどう活用できるか、現状と課題を調査する。 目標：各学校に対してアンケート調査を実施し、その結果について情報発信を行う。 実績：JA大井川女性部が部員で構成される食育ボランティアを中心に、六合小学校（大豆料理教室）・相賀小学校（大豆栽培、味噌・豆腐づくり、こんにゃくづくり）にて、食育指導を行った。</p>	市民グループ
	<p>③食育についての教育の場での取組の調査 目的：教育の場で食育がどのように取り組まれているかを調査し、保護者との連携の課題を見つける。 目標：調査を実施し情報発信を行う。 実績：しまだ環境ひろばが「学校給食試食会」に参加した。</p>	市民グループ
市民参加の給食週間の実施	<p>④給食週間の充実 目的：学校給食週間を活用して、市民（児童生徒・保護者を含む）に対する学校給食の啓発に努める。 目標：セレクト給食の満足度 90%以上を目指す。 市民試食会の参加者数 300人以上を目指す。 実績：セレクト給食の満足度が100%で、目標を達成した。各調理場で市民試食会を開催し、167人の参加となった。学校・調理場・生産者が連携し、調理場職員、生産者が学校を訪問する等、学校給食の啓発活動を実施した。</p>	学校教育課
安全で豊かな学校給食の推進	<p>⑤学校給食を考える会の開催 目的：市民（事業者含む）と市が学校給食をより安全で豊かなものとするために話し合う会を開催する。 目標：安全で豊かな給食を進めるため、給食について話し合う機会を毎月もつ。 実績：学校給食共同調理場運営委員会を年3回、物資選定委員会を年13回開催した。</p>	学校教育課
	<p>⑥学校給食地産地消連絡会への参加・協力 目的：地場産品の導入を進め、安全で豊かな学校給食のあり方について考え合う場をつくる。 目標：定期的に行政と調整を図り、学校給食地産地消推進連絡会を推進していく。 実績：生産者27人・流通業者5団体・消費者2団体が学校給食地産地消推進連絡会に参加した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 4-4 食への関心を高める行動の推進

取組 4-4-1 栽培・収穫・加工体験の推進

取組項目	事業等の内容	担当
栽培・収穫・加工体験の場の整備・充実	<p>①みかんの木オーナー制度 目的：島田市特産の神座みかんのPRと合わせて、市民に収穫体験の場を提供する。 目標：受入農家の定着を図り、農村と都市の交流を促進する。 実績：平成23年度に制度を廃止した。</p>	農政課

	<p>②栽培・収穫・加工体験の場づくり 目的：栽培・収穫・加工体験の場の現況を調査し、市民が身近に農作業体験をする中で交流を進める。 目標：現況調査を行い農業体験の場をつくり、広く市民に周知する。 実績：①しまだ環境ひろばが市農政課の指導により、「御仮屋市民農園」を開設し、市民に農業体験の場を提供した。(42人)旧コープ島田店前のコミュニティ農園で、菜の花や大豆の共同栽培を中心とした農業体験の場を提供した。(20人)そのだ農園にて、「味噌づくり体験会」を実施した。(20人)もち米・梅の収穫体験を実施した。②やまゆりが親子教室で、休耕田を利用したそばの種まき・栽培体験を実施した。また、収穫したそばでそば打ち体験を行った。(50人)③そのだ農園が大豆栽培・味噌加工の指導を行った。また、六合第一保育園の親子を対象に、田植え・稲刈り・精米体験を実施した。④JA大井川女性部が六合小学校4年生を対象に、大豆を使った料理教室を開催した。豆腐・きな粉飴・おからクッキーを作り、大豆加工食品について実践指導した。(80人)⑤環境市民くらぶが市民と共同で菜種栽培を実施し、収穫・菜種油の搾油を行った。(13人)また、大豆を栽培・収穫し、味噌づくりを行った。⑥交流センターささまが森づくりS川根と共同で、そば栽培・収穫・そば打ち体験を行った。(17人)⑦水と里山を守る会が耕作放棄地で、菜種、大豆、そばの栽培・収穫・加工体験を行った。(72人)</p>	市民グループ
栽培・収穫・加工の指導者の養成・派遣	<p>③栽培・収集・加工の指導者登録づくり(ネットワーク) 目的：栽培・収集・加工の技術を持った方々とネットワークをつくり、農作業体験を指導してもらう。 目標：市やJA等の事業者と協力し、指導者の掘り起こしと登録を進める。 実績：①環境市民くらぶが大豆・菜種栽培で、そのだ農園から指導を受けた。②しまだ環境ひろばがそのだ農園から指導を受けて、「手づくり味噌体験会」を実施した。③JA大井川女性部が相賀小学校6年生を対象に、大豆の種まきから収穫までを指導した。さらには、収穫した大豆を使って、味噌づくり・豆腐づくりを行った。また、相賀小学校2年生を対象に、こんにゃくづくりを指導した。④水と里山を守る会が食の安全に関する講演会(非遺伝子組換えの大豆栽培、菜の花食用油の効用等)を開催するとともに、講師を育成した。</p>	市民グループ
市民農園制度の拡充	<p>④市民農園の整備及び開設の支援 目的：市民が自ら栽培や収穫の農業体験を行うことにより、農業や地産地消への理解を深めてもらうとともに、農地の有効利用を図る。 目標：市民農園の新規開設(民間主導または行政主体)を行う。 実績：御仮屋市民農園(41区画)を10月に開設し、22区画の応募があった。市民農園講座を①野菜栽培の基礎講義とカブ・ほうれん草の植付け、②収穫の2回開講し、合計28組42人の参加があった。</p>	農政課

取組 4-4-2 伝統的な食材や味の伝承

取組項目	事業等の内容	担当
地域の伝統的な食材や味の掘り起こし	<p>①地域の伝統食の聞き取り調査及び情報提供 目的：地域の伝統食についての聞き取り調査を行い、情報を整理し発信する。 目標：市内の朝市や農家をはじめ、広く市民に取材して、情報提供を行う。 実績：①しまだ環境ひろばが市民環境塾「早ね早起き朝ごはん」にて、「塩麴」と「しょう油麴」の効用と作り方を学習した。また、市民環境塾「秋の県民森づくり大作戦」にて、菜種油や手づくり味噌、市民農園で収穫した野菜を使って、具だくさん島田汁を作った。②交流センターささまがささまふれあいの里と共同で、山の駅弁フェスタに出品する「新きこり弁当」の試作・試食会を行った。</p>	市民グループ
伝統料理カレンダーの作成	<p>②地域に伝わる伝統料理や行事食のカレンダーづくり 目的：地域に伝わる伝統料理や行事食にはその地域の文化だけでなく、その住民の健康に即した意味もあるので、カレンダーにして紹介する。 目標：伝統料理カレンダーを作成し、啓発活動の際に配布する。 実績：なし</p>	市民グループ

取組 4-4-3 食生活に関する学習の推進

取組項目	事業等の内容	担当
島田版食生活指針の作成	①島田版食生活指針の作成及び発行 目的：食生活について市民に啓発を図るため、島田版食生活指針を発行する。 目標：平成12年に国が作成した食生活指針を基に、分かりやすく現状に即した指針を作成し発行する。 実績：①しまだ環境ひろばがくらし・いきいきフェアにて、食の安全及び食育基本法に関する大看板を製作・展示した。また、市民環境塾にて、食生活の実態報告や注意喚起を行った。②水と里山を守る会が公民館生涯教育や活動グループにて、食生活指導の講演会を開催した。また、食生活指針（糖質制限療法等）をわかりやすい表にまとめ、受講者に対して配布・啓発を行った。	市民グループ
食生活に関する情報紙の発行	②市民の食生活の実態把握 目的：食生活に関する情報紙を発行する。 目標：情報紙の定期的な発行を目指す。 実績：この項目は4-1-2に含まれる。	市民グループ
健康づくり食生活推進活動の実施	③栄養改善事業 目的：生活習慣病予防、健康づくりのための健全な食生活の普及啓発を図る。 目標：島田市健康づくり食生活推進員の育成を行い、「親子の食育活動」・「生活習慣病予防」・「高齢者の食生活」について、地域での料理教室や普及事業の拡充を図っていく。（一般市民への普及活動 平成24年度目標値：10,000人） 実績：研修会や学習会を開催し、推進員の育成を行った。親子料理教室や食育の日のイベント等で、「具だくさん島田汁」を通しての食育普及啓発活動を実施した。また、食生活改善事業として、地域での糖尿病予防教室及び男性の料理教室を開催した。	健康づくり課

取組の基本的方向 4-5 環境負荷の少ない食生活の推進

取組 4-5-1 エコクッキングの推進

取組項目	事業等の内容	担当
エコクッキングチェックシートの活用	①エコクッキングチェックシートの活用 目的：エコクッキングのより良い取組を広げるためにチェックシートを作成し、配布する。 目標：エコクッキングチェックシートの活用を進める。 実績：なし	市民グループ
エコクッキング体験教室の実施	②省エネ、環境負荷軽減のための体験料理教室の開催 目的：市民にエコクッキング体験希望者を募集して、体験教室の場を提供する。 目標：エコクッキング体験教室の場を増やしていく。 実績：しまだ環境ひろばが市民環境塾「お鍋カバーづくりと節電の工夫」にて、お鍋カバーの効用やエネルギー情勢、環境負荷の低減について講義した。	市民グループ

5 環境教育・情報・連携

5-1 取組の実施結果及び評価

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
環境の状況や、環境に関する市からの情報提供の満足度	17%	17.8% (H23年度)	50%	未達成

※実績値はH23年度に実施した「環境に関する市民アンケート調査」の集計結果による。

【評価】

- ・目標値の達成には至らず、基準値からの大きな増加も得られませんでした。
- ・市民アンケート調査の結果によると、76.4%の市民が「環境情報をもっと知りたい」と考えているので、今後は情報の収集方法やメディアの活用方法を検討し、環境情報の充実を図ります。
- ・本市では、毎年、環境の状況や環境基本計画の進捗状況等を取りまとめて、「島田市環境報告書」を発行し、公表しています。今後はわかりやすい内容にするとともに、市民や事業者による環境保全活動の掲載を充実させます。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
環境に関する講座・体験教室等の開催回数	—	31回	年24回以上 実施	達成

※実績値＝アース・キッズ事業（キックオフイベント・セレモニー）14回＋出前講座1回＋市民環境塾等16回

【評価】

- ・静岡県や市民団体等と協働で実施し、目標値を達成しました。
- ・平成17年度に開始したアース・キッズ事業は、小学生高学年を対象として、総合的な学習の授業内容との連携を図りながら、地球温暖化防止に取り組むプログラムです。島田市・静岡県・静岡県地球温暖化防止活動推進センターの3者が連携・協力して実施し、年々実施校を増やしています。
- ・市民の環境学習の場として、「市民環境塾」を開催しました。平成15年度に開始し、平成24年度までの10年間において、累計で3,374人の市民が受講しています。
- ・今後も市民一人ひとりの環境保全意識を醸成するため、環境教育・環境学習を総合的に推進します。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
環境に関する講座・体験教室等への参加者の割合 (講座等参加者数/人口)	—	2.5%	10%	未達成

※実績値＝(アース・キッズ事業259人＋出前講座91人＋市民環境塾等354人＋浄化センター見学者数251人＋田代環境プラザ見学者数1,630人)÷人口

【評価】

- ・目標値の達成には至りませんでした。近年では、数値に表れない取組として、事業者が環境に関する講座の開催や学校現場等への講師の派遣を行っています。今後はこのような活動を支援し、利用の促進を図ります。
- ・田代環境プラザでは、年間を通して見学を受け入れており、見学者に対してごみ減量に関する意識啓発を行っています。また、市内の多くの小学校がこれを環境教育プログラムとして利用しています。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
環境に関する市民団体の会員の割合 (市民団体会員数/人口)	—	9.8%	10%	未達成

※実績値＝(環境市民団体2,438人＋河川愛護団体4,812人＋公園愛護会2,761人)÷人口

【評価】

- ・目標値の達成には至りませんでした。多くの市民が環境に関する活動に参加しています。
- ・市内には、NPOをはじめとする環境市民団体が数多くあり、本市の環境を保全・創造する上で重要な役割を果たしています。今後は、団体間の横のつながり、協働の支援を行い、市民活動の活性化を図ります。

環境の目標	基準値 (H13年度)	実績値 (H24年度)	目標値 (H24年度)	目標達成状況
環境に関する市民・事業者・行政の3者が参加する会議開催数	—	14回/年	月1回以上	達成

※実績値＝環境審議会4回＋環境市民会議5回＋環境基本計画の進行管理に係る意見交換会5回

【評価】

- ・環境基本計画の策定・進行管理に係る各種会議を開催し、目標値を達成しました。
- ・第2次環境基本計画の策定にあたり、市民・事業者の意見を計画に反映させるため、環境市民会議を開催し、ワークショップ形式による計画案の検討を行いました。
- ・環境基本計画の着実な進行管理を行うため、市・市民団体・事業者による意見交換会を開催し、取組の実施状況の確認及び次年度の取組の検討を行いました。

3-2 事業等の内容

事業等の実施数

取組の基本的方向	取組	平成24年度の事業等実施数
5-1 環境教育・環境学習の推進	5-1-1 幼児期における環境教育の推進	1
	5-1-2 学校教育における環境教育の推進	3
	5-1-3 生涯学習における環境学習の推進	2
	5-1-4 環境教育・環境学習の推進体制の確立	3
5-2 環境に関する情報の共有	5-2-1 情報の相互発信の推進	4
5-3 パートナーシップによる環境保全の取組の推進	5-3-1 市民・事業者・市の連携のしくみづくり	3
	5-3-2 環境と共生した開発等の推進	4
	5-3-3 計画の確実な推進	1
合 計		21

取組の基本的方向 5-1 環境教育・環境学習の推進

取組 5-1-1 幼児期における環境教育の推進

取組項目	取組名称	担当
幼児教育担当者の研修の充実	①幼保小合同研修会 目的：幼児期からの環境教育を行う必要性から、それぞれの担当者が連携して、環境にやさしいしつけやマナーの習得、指導法の情報交換を行う。 目標：年間2回程度開催する。 実績：年間2回の研修会を実施した。	学校教育課

取組 5-1-2 学校教育における環境教育の推進

取組項目	取組名称	担当
学校教育担当者の研修の充実	①環境教育研修会の充実 目的：学校教育における環境教育を推進するため、環境教育研修会を開催し、学校教育担当者の知識の習得や情報交換を行う。 目標：環境教育研修会を年間1回程度開催する。 実績：「放射線教育推進委員会」を立ち上げ、放射線教育授業のモデル案を策定した。モデル案に基づき、担当教諭に対して研修を行い、全小中学校において放射線教育を実施した。	学校教育課
教育資材の充実	②環境教育資材の充実 目的：学校教育において環境教育に係る事業を実施するうえで教材として使用する資材の整備を進める。 目標：学校教育で環境教育に係る事業を実施するために必要な教材・資料等の充実と共有を図る。 実績：環境教育に係る資料や器材の貸し出しなど、外部からの情報を各学校に伝え、活用を促した。	学校教育課
リサイクルの推進	③古紙等の資源化回収事業 目的：資源を大切にできる態度を身に付けさせるため、資源のリサイクルを推進する。 目標：古紙回収量 1,300 t を目指す。(19年度実績 1,162 t) 実績：古紙回収量は962 t であった。	学校教育課

取組 5-1-3 生涯学習における環境教育の推進

取組項目	取組名称	担当
環境学習の場の充実	①環境学習講座の開催 目的：生涯学習における環境学習の場を充実する。 目標：広く一般市民を対象に環境学習講座を開催する。 実績：市民の環境学習の場として、「市民環境塾」をしまだ環境ひろばに委託して実施した。また、島田第四小学校の5年生を対象に職員による出前講座（水生生物調査）を実施した。	環境課

	<p>②環境学習講座の開催（入門講座）</p> <p>目的：環境関連の基本的知識の習得や体験学習を通じて、市民の環境意識を高める。</p> <p>目標：市民を対象に環境学習講座を開催する。平成24年までに環境学習講座受講生（修了生）を全市民数の1%（約1,000人）を目指す。</p> <p>実績：①しまだ環境ひろばが市内各地で市民環境塾を開催した。（274人）また、島田市の循環型社会を考える会と共同して、環境教育プログラム（児童編・一般市民編）を作成した。②水と里山を守る会が生態系の保全、有機・無農薬野菜の栽培等についての講演会を4回開催した。（80人）</p>	市民グループ
--	--	--------

取組 5-1-4 環境教育・環境学習の推進体制の確立

取組項目	取組名称	担当
環境教育リーダー育成のしくみづくり	<p>①環境リーダー育成事業</p> <p>目的：市民・事業者の中から自主的かつ積極的に活動していく環境教育リーダーを育成する。</p> <p>目標：県の環境学習指導員総合学習講座等の受講促進や、市民環境塾でのリーダー育成講座を企画する。</p> <p>実績：県が実施する環境学習指導員総合学習講座についてホームページに募集記事を掲載するとともに、市民団体に情報提供し、受講促進を図った。また、県内市町の先進事例を調査・研究し、リーダー育成講座の開催を検討した。</p>	環境課
	<p>②市民環境塾（リーダー育成編）の開催</p> <p>目的：環境教育を推進する人材を育成するために、基本的知識の習得や体験学習を行い、指導者としての能力を養成する。幅広い視野をもつ実践的な指導者を育成する。</p> <p>目標：①平成21年度中に市と検討会を開き、リーダー育成編の在り方を決める。②平成24年度までに環境リーダー育成編の教育修了者を50人養成する。</p> <p>実績：しまだ環境ひろばが市民環境塾の打ち合わせや環境基本計画見直しの場で、市環境課とリーダー育成編について意見交換を行った。</p>	市民グループ
環境人材バンクによる人材派遣	<p>③環境人材バンク事業</p> <p>目的：小中学校や町内会等における環境学習講座へ講師を派遣する。</p> <p>目標：人材バンクへの登録者数を増やし、制度の拡充を図る。</p> <p>実績：環境人材バンクへの新規登録はなく、講座への派遣も実施されなかった。</p>	環境課
	<p>④環境人材バンクの登録促進とバンク人材の活用</p> <p>目的：幼児教育・学校教育・生涯学習・地域学習などあらゆる場において、環境教育・環境学習を行う際に必要な人材の登録制度と人材派遣を推進する。</p> <p>目標：①環境リーダー育成編修了者や地域の人材を発掘し登録を促す。②平成24年度までに登録者数30人、派遣件数30回を目指す。</p> <p>実績：しまだ環境ひろばが市民環境塾にて、環境人材バンク登録者（しまだ環境ひろば会員）を活用した。</p>	市民グループ

取組の基本的方向 5-2 環境に関する情報の共有

取組 5-2-1 情報の相互発信の推進

取組項目	取組名称	担当
環境に関する情報発信の拠点の整備	<p>①環境に関する情報発信の拠点の整備</p> <p>目的：環境に関する各種活動等の情報を市民が中心となって収集・発信する。</p> <p>目標：市民団体による環境に関する情報発信の拠点の整備を検討する。</p> <p>実績：新たな体制づくりは実施できなかった。</p>	環境課
	<p>②環境に関する情報発信の拠点の設置</p> <p>目的：市内の環境資源や環境保全のための取組、環境に関する講座・イベント情報、公害・有害化学物質に関する情報等の収集・整理・提供活動により、だれもが簡単に知りたい情報の入手を可能にする。</p> <p>目標：①平成21年度に市と協議して場所を確保する。②平成22年度に運用を開始する。</p> <p>実績：環境基本計画意見交換会の場で出席者全員により意見交換を行った。</p>	市民グループ

市内外の環境に関する講座・イベント情報の整備発信	③市内外の環境に関する講座・イベント情報の発信 目的：環境に関する様々な情報を広く市民に発信し、周知を図る。 目標：インターネットや広報紙等の利用により、市民グループや行政の情報を可能な限り発信する。 実績：広報紙・ホームページへの掲載、ポスターの掲示、パンフレットの掲出により情報提供を行った。	環境課
	④環境に関する講座・イベント情報の発信 目的：市内外の市民・事業者・行政が発信する環境に関する講座やイベント情報を収集し、それらの情報を市民の誰もが容易に入手できるように発信する。 目標：平成22年度より環境に関する情報発信の拠点及びインターネットにより環境に関する講座・イベント情報を発信し、全市民が情報をキャッチできるようにする。 実績：①しまだ環境ひろばがeコミしまだ、広報しまだ、公共施設掲示板等でイベント情報を発信した。また、eコミしまだのNPOイベントカレンダーに登録して、イベント情報を発信した。②環境フェアネットワーク島田が情報を発信する場として、環境フェアを開催した。③環境市民くらぶが歩歩路掲示板でイベント情報を発信した。	市民グループ
公害・有害化学物質に関する情報の提供	⑤島田市環境報告書作成事業 目的：島田市環境報告書を作成し、市内における環境測定の結果や環境に関する情報、また市の環境施策等についての報告を行う。 目標：環境の状況や市の環境施策について速やかに公表する。 実績：環境施策の実施状況として、市民団体（1団体）・事業者（2社）の取組を掲載した。	環境課

取組の基本的方向 5-3 パートナーシップによる環境保全の取組の推進

取組 5-3-1 市民・事業者・市の連携のしくみづくり

取組項目	取組名称	担当
環境を軸とした連携のしくみづくり	①環境基本計画に基づく取組事業の実施 目的：市民・事業者の取組事業への積極的な参画を促進し、市との協働により望ましい環境像の実現のための事業を推進していく。 目標：市民（市民団体）・事業者・行政が相互に協力・連携して、活動できるしくみづくりを進める。 実績：環境基本計画に基づく5つの部会ごとに意見交換会を開催し、市民団体・事業者と情報交換及び環境に関する取組について調整を図った。	環境課
	②市民・事業者・市の連携の推進 目的：望ましい環境像実現に向けて欠かすことのできない3者の連携のあり方について検討し、そのしくみづくりを行う。 目標：連携が必要な取組のテーマを決め、3者が連携して推進していく。 実績：①環境フェアネットワーク島田が市民団体（14団体）・事業者（10社）・市と連携して、環境フェアを開催した。②しまだ環境ひろばが環境フェア、くらし・いきいきフェア、ふれあい広場、元気市、どやものまつりに参加し、各種団体と交流した。	市民グループ
	③大井川の清流を守る研究協議会事業 目的：大井川流域の環境保全と流況改善に必要な事業を行う。 目標：流域自治体の連携により、大井川の水質や河川環境の改善に向け流域全体で実情を学び、情報を共有して活動に取り組む。 実績：大井川の現状視察会（源流部：31人、中流域：15人）を開催した。大井川用水を学ぶ視察会（20人）を開催した。構成市町管内の小学生（高学年）に対して、大井川環境教育出前講座を実施した。SLフェスタにおいて啓発活動を行い、大井川に関するアンケート調査（252人から回答）を実施した。吉田町の小山城まつりに出展し、啓発を行った。	環境課

5-3-2 環境と共生した開発等の推進

取組項目	取組名称	担当
開発時の環境への配慮の推進	①土地利用対策事業 目的：土地利用事業の施行に関し必要な基準を定め、適正な土地利用を指導する。 目標：災害防止、良好な自然及び生活環境の確保を推進する。 実績：土地利用事業計画24件について、土地利用対策委員会で審議し、事業者に調整池や雨水浸透施設、緑地の設置を整備した。また、指導要綱の見直しにより、基準の明確化を図った。	都市計画課
	②島田市田代の郷整備事業の推進 目的：伊太田代地区周辺に生息するクマタカ等の保全に努めながら、当該地域の自然環境を復元、再生するため、市民の意見を最大限に取り入れた土地利用計画に基づき、田代の郷整備事業を推進する。 目標：伊太田代地区周辺に生息するクマタカ等の繁殖に適した環境の保全に努め、当該地域の自然環境に配慮しながら、温泉施設等の整備を推進する。 実績：田代の郷を中心とした地域の猛禽類の出現箇所数は前年よりも1箇所多い7箇所となった。また、田代の郷を中心とした地域に移植した貴重植物の生存率は4.9ポイント低下し、65.8%となった。	企画課
	③田代の郷整備計画のフォロー 目的：「環境プラザ」を中心とした地域の土地利用について、周辺の自然環境と共生する新しい形の地域活性化を目標に、市民・事業者・市が連携して地域づくりを検討する。 目標：進捗状況に合わせて意見交換ができる場を設ける。 実績：なし	市民グループ
	④環境保全のための話し合いの場の設置 目的：自然保護・生物多様性の保全と適正な開発の調整・情報公開を図るためのしくみをつくる。 目標：平成21年度からしくみづくりのための話し合いを始める。 実績：しまだ環境ひろばが市の環境関連部署（環境課・農政課・学校教育課・企画調整課・広報課等）を巡回し、情報収集や意見交換を行った。また、環境活動を通して、他団体と交流した。	市民グループ
	⑤「地域のマップ」づくり 目的：主として市街地を対象に、その地域の特色ある樹木や建造物などを把握したマップを作成し、環境とバランスのとれた適切な土地利用を提案する。 目標：既存の各種資料を分析した上で、住民の意見を盛り込み、平成24年度の作成を目指す。 実績：なし	市民グループ
	⑥自然環境マップの作成 目的：自然環境マップの作成・配布により、市内の自然環境についての市民意識の高揚を図る。 目標：児童・生徒をはじめ、広く市民に市内の自然環境に関するガイドブックとして使用してもらう。 実績：市民や市内の小学校に対して既存の自然環境マップを配布した。	環境課
	⑦自然環境マップの作成 目的：学術的に重要な自然環境や市民が愛着をもつ環境資源を行政と協働により調査し、市民への啓発を行う。 目標：平成24年度までに行政と協働により毎年度テーマを変えて自然環境マップを作成する。 実績：なし	市民グループ

取組 5-3-3 計画の確実な推進

取組項目	取組名称	担当
計画の進行管理の実施	①島田市環境基本計画進行管理 目的：平成14年度に策定された島田市環境基本計画を確実に実行する。 目標：平成24年度までの10年間における計画内容の目標を達成する。 実績：市関係課・市民団体の取組状況を調査し、それに基づいて市民・事業者・市による意見交換会を開催した。また、庁内策定委員会及び環境市民会議（ワークショップ）を開催し、第2次島田市環境基本計画を策定した。	環境課

6 事業等の取組団体（市民グループ）一覧

五十音順

	団 体 名	事務所所在地又は代表者住所	環境に関する主な活動
1	アピタ島田店	島田市宝来町	不用になった衣料品の引き取り
2	(株)伊東工業	島田市向谷一丁目	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
3	大井川の清流を守る研究協議会	川根本町	大井川を学ぶ視察会、出前講座の開催
4	大井川流域ネットワーク	島田市中央町	川まつりへの参加
5	大津自治会	島田市落合 大津農村改善センター山王内	大津地区の清掃活動、大津谷川の水質調査
6	大津谷川を愛する会	島田市本通七丁目	大津谷川のごみ拾い
7	家庭倫理の会静岡中部	島田市道悦二丁目	国道1号バイパスIC周辺等での環境美化活動
8	金谷コミュニティ委員会環境部会	島田市金谷栄町	県道島田金谷線のごみ拾い
9	金谷ライフクリエイターサークル	島田市金谷坂町	生ごみ利用による堆肥づくり
10	川根消費生活桜美会	島田市川根町家山	ペットボトルキャップの回収
11	NPO法人 環境市民くらぶ	島田市元島田	各種環境保全活動（ごみ、エネルギー関係）、まちづくりの推進、社会教育の推進
12	環境フェアネットワーク島田	島田市元島田	環境フェアの開催
13	公園愛護会	市内46団体	清掃、除草等による自主的な公園管理
14	NPO法人 里山仕事・しょんた塾	島田市金谷清水	金谷地区石畳坂や諏訪原城跡等の里山整備
15	NPO法人 里山どんぐりの会	島田市旭二丁目	間伐等里山整備
16	山村都市交流センターささま (企業組合くれば)	島田市川根町笹間上	自然体験教室、伝統料理調理教室の開催
17	静岡県トラック協会中部支部	島田市中溝町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
18	NPO法人 しまだ環境ひろば	島田市中溝町	環境基本計画に即した各種の環境保全活動
19	島田市商工会川根町支所	島田市川根町家山	地域の伝統料理の普及啓発活動
20	島田市消費者グループ	島田市稲荷一丁目	エコショップの調査、フリーマーケットの開催
21	島田市職員互助会	島田市中央町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
22	島田市の循環型社会を考える会	島田市柳町	ごみの分別とリサイクルに関する意識調査、環境教育プログラムの作成
23	島田商工会議所	島田市日之出町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
24	島田青年会議所	島田市大津通	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
25	NPO法人 しろやまゆいの会	島田市湯日	竹細工・炭焼き体験の開催、竹林整備
26	生活協同組合ユーコープ	島田市本通三丁目 (島田おびりあ店)	グリーンカーテンコンテストの開催、エコドライブの実施
27	生活クラブ生協静岡志太支部	島田市中央町	3Rの推進、環境にやさしい石鹸利用の啓発

	団 体 名	事務所所在地又は代表者住所	環境に関する主な活動
28	そのだ農園	島田市東光寺	農業指導、菜種栽培、情報紙の発行
29	地球温暖化防止のための生ごみ資源化地域協議会	島田市柳町	ごみの分別とリサイクルに関する意識調査
30	初倉公民館・初倉児童センター	島田市阪本 初倉行政サービスセンター内	ホタル鑑賞会・炭焼き体験の開催、
31	番屋金谷	島田市金谷河原	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
32	ぼうけんクラブ	島田市旭二丁目	自然体験教室の開催
33	ボカシネットワークしまだ	島田市大井町 ワークセンターコスモス内	ボカシ堆肥づくり及び普及啓発、バザーの開催
34	NPO まちづくり川根の会	島田市川根町家山	道路・河川の美化活動、地域での生ごみ堆肥化
35	水と里山を守る会	島田市野田	河川・公園の実態調査、ホタル鑑賞会の開催、 菜種等の栽培、食生活指導
36	森づくりS川根 NPO	島田市川根町笹間上	ホタル鑑賞会の開催、笹間地区の森林整備、 間伐材の利用
37	山ざくら・もみじの会	島田市川根町家山	道路の清掃・草刈り
38	やまめ平	島田市笹間下	環境にやさしい石鹼利用の啓発
39	やまゆり	島田市伊久美	地元産材による安全・安心な食品の加工販売、 そば打ち等の体験教室の開催
40	湯日美里会	島田市湯日	湯日川の浄化活動
41	六合コミュニティ委員会	島田市道悦五丁目 六合行政サービスセンター内	ホタル鑑賞会の開催、栃山川の河川美化活動
42	CRCセントラルリバークラブ	島市中河町	国道1号バイパスIC周辺での環境美化活動
43	JA大井川女性部島田ブロック	島市中河町	地産地消の推進、クッキングフェスタの開催、 調理実習、食育指導
44	Team Love H ₂ O & Forest	島田市川根町家山	野守の池の浄化活動